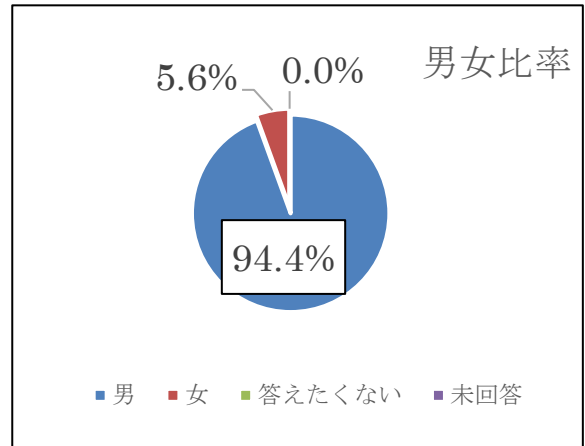


本研修に関する受講者アンケート結果

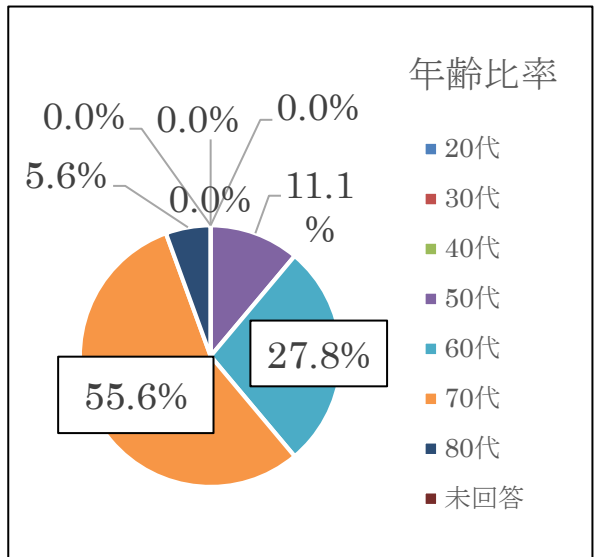
1. 性別

性別	合計	男女比率
男	34	94.4%
女	2	5.6%
答えたくない	0	0.0%
未回答	0	0.0%
合計	36	



2. 年齢

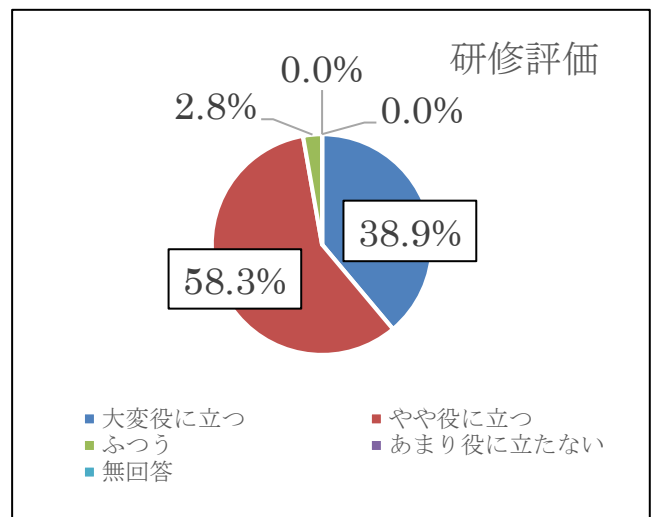
年齢	合計	年齢比率
20代	0	0.0%
30代	0	0.0%
40代	0	0.0%
50代	4	11.1%
60代	10	27.8%
70代	20	55.6%
80代	2	5.6%
未回答	0	0.0%
合計	36	



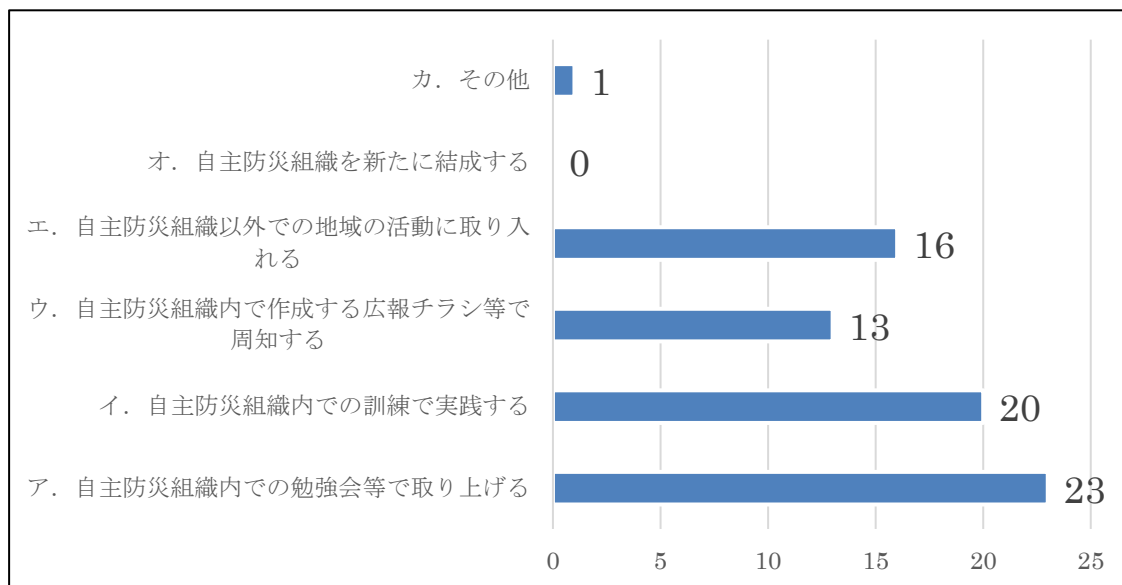
3. 研修内容

(1) 今後の活動に役立つと思うか

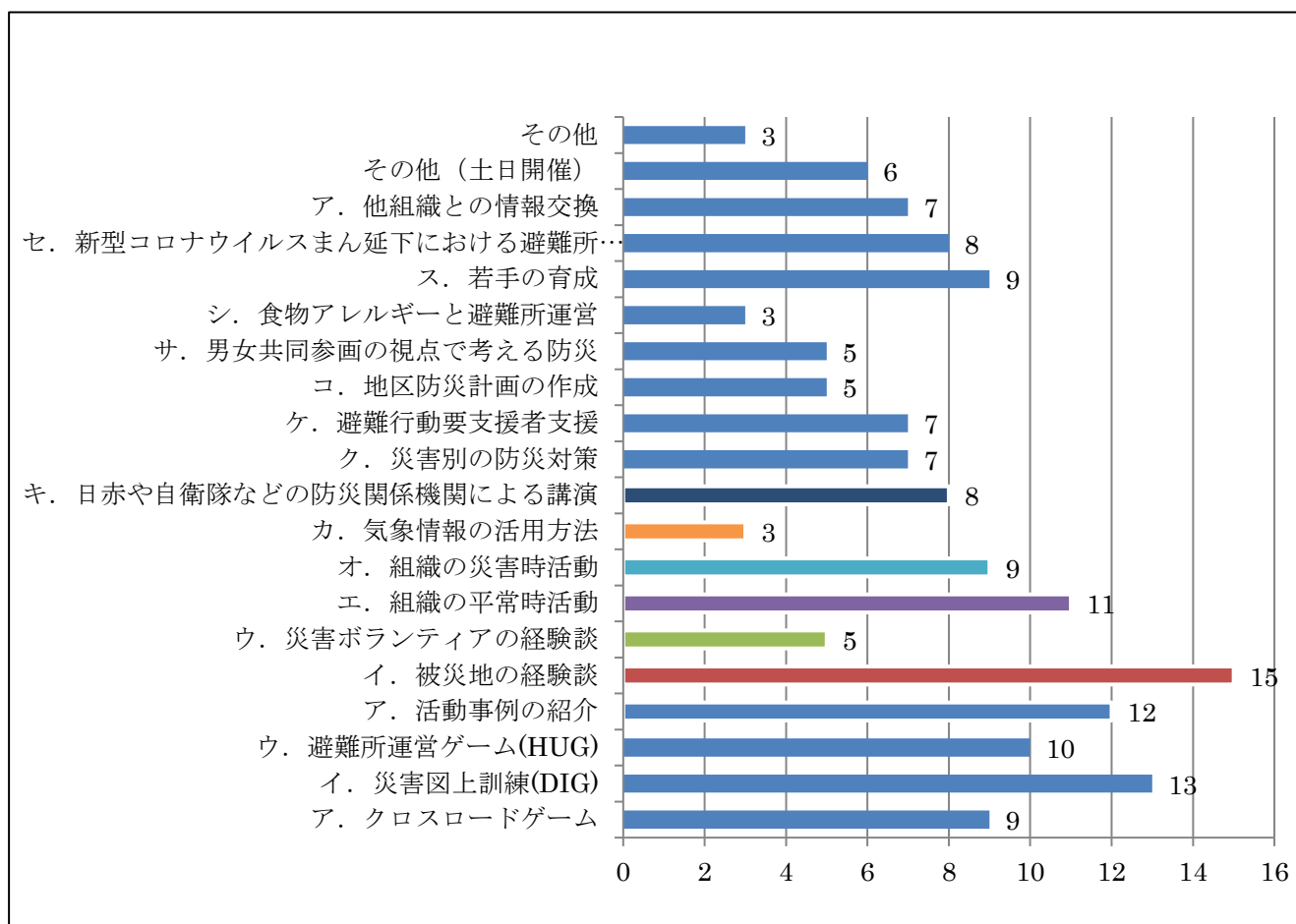
研修内容 全体	合計	比率
大変役に立つ	14	38.9%
やや役に立つ	21	58.3%
ふつう	1	2.8%
あまり役に立たない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	36	



(2)学んだ内容をどのように活かすか（複数回答、回答者数 31 人）

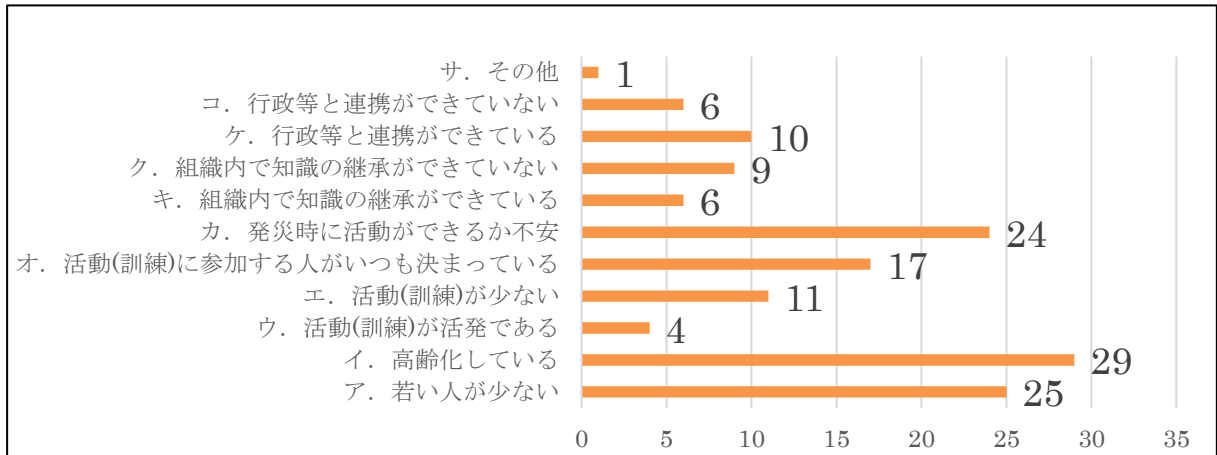


(3)今後希望する内容（複数回答、回答者数 32 人）

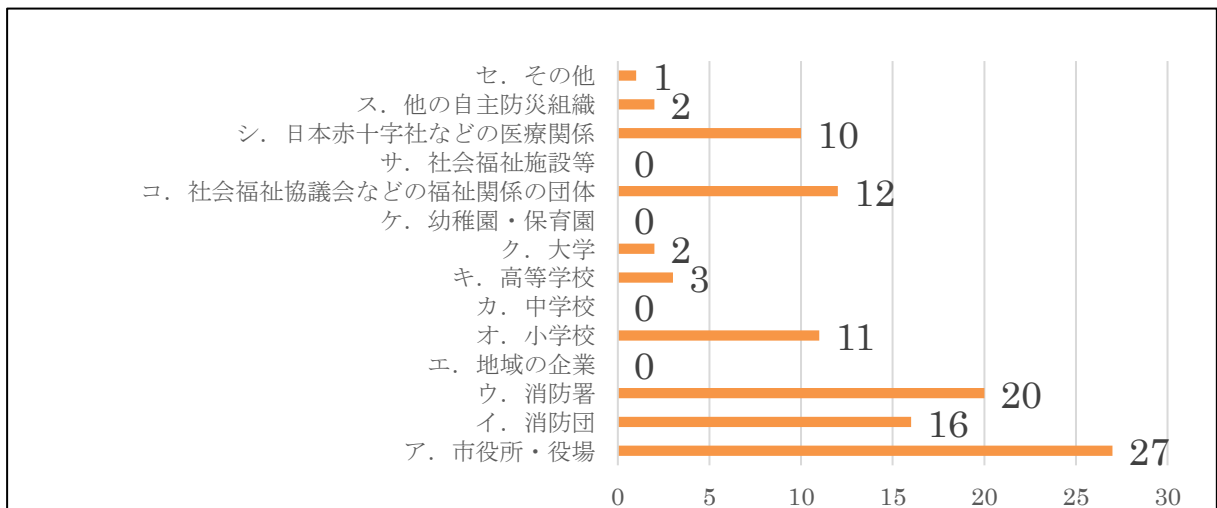


4. 自主防災組織について

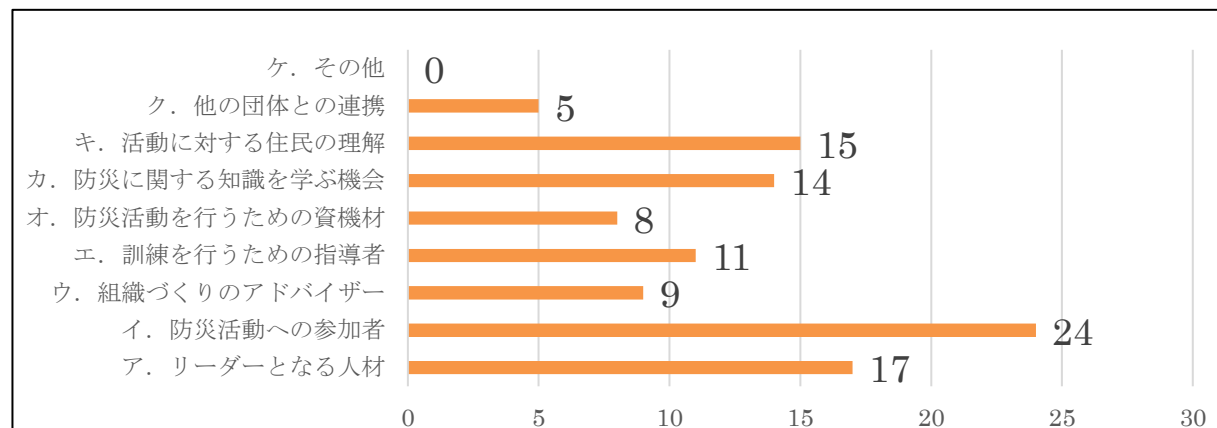
(1) 所属する組織について日頃感じること（複数回答、回答者数 35 人）



(2) 防災活動での他機関との連携状況（複数回答、回答者数 35 人）



(3) 組織を活性化していくうえで必要と思うもの（複数回答、回答者数 35 人）



(1) 研修について良かった点や改善点

<研修時間・会場に関して>

- ・終日の長い講義は厳しい。
- ・内容は有意義なテーマであったが、長時間盛沢山の講義であったため、疲れが多であった。
- ・9時より17時まででは体力的に厳しい。(普段長時間座る事がないため)

<講義に関して>

- ・府災害廃棄物処理計画 PR、周知の必要があります。
- ・広い分野についての研修だったので、知識的にプラスになった。
- ・講義内容では自分が活動している防災組織ではまだまだハードルが高い内容が多い事も感じた。
- ・皆さんわかりやすい話し方がよかった。
- ・ゴミまでが大切なのがよくわかりました。
- ・中味が分散、テーマを絞って複数回しては。
- ・本日はありがとうございました。良かったです。またお聞きしたい内容ばかりでした。
- ・自治会で50人レベルでの講演をしてほしい。
- ・内容が多かったがとても重要なことで「しんどかったが良かった」というのが正直な気持ちです。関係者の皆様ありがとうございました。
- ・全体的によかった。
- ・QRコードによる防災気象情報の入手と活用がよかったです。
- ・災害ごみの分別のルールづくり、ごみ問題は切実ですみやかな対処が必要と思う。

<その他>

- ・自身がどんな育成研修があるのかよくわかっていない。
- ・コロナ禍でこれまでの防災対策に進化が起きていることを痛感した。
- ・実際に避難所を開設された方々のやり方を事例として紹介してほしいです。また、守口市ではどのような仕組みになっているのか事前に教えて頂きたいです。
- ・高齢化が目立って来ているので、要介護者や老人が多いと思っている。

(2) 組織のリーダーや若手の人材をふやすためにどのような取り組みが必要か

- ・地域活動の活発化。
- ・日常的に見える活発な活動と若い人へ積極的な応援要請や行動への働きかけ。
- ・他地域の防災組織及び消防・自衛隊・赤十字等の交流会(見学会)を実施してほしい。
- ・防災取組みが身近に感じられ積極的なアピールを若い人にもする。
- ・人材が不足する状況の中で、防災意識の啓発に取り組んでいるが、有効な人材育成の手段が見つからない。
- ・防災士の資格保有を推進している団体・組織との連携を図る。(例：日本郵便)
- ・防災の必要性を広める。
- ・実際に訓練をし、重要性を確かめる。
- ・日頃の地域活動全般への参加者を増やす努力。(防災への潜在的な人材の掘り起こしがなければ広く人材を求められないだろう。)

- ・広報活動。
- ・小中高より教育できれば（授業は無理と思う）せめて講演位から。
- ・地道な人材育成が必要と思う。
- ・防災関係での学ぶ時間を増やす事が大事と思います。（知識を深める研修を増やす。）
- ・地域の行事等で話をしていくのが必要だと思っている。
- ・普段から地域の住民と会話をして防災に関心の高い方を見つける。
- ・現在、年 2 回の防災訓練を実施している中で、興味を持ってもらえる様な訓練内容を実施していくうえでの若手の発掘。
- ・日常から地域の若手をいろいろな行事に参加してもらう様にする。
- ・受け入れ、自主防災役割、イベントとの連動。
- ・住民全員が災害時被災者になるとの自覚が必要。
- ・講習会（講義）が必要。

（3）日々の活動の中で悩んでいること

- ・高齢化と世代交代。
- ・どうしても決まった人で決定～実行となりがちで広げるのが難しい。
- ・積極的な活動が実施出来ていないと思う。
- ・若手リーダーの担い手が中々見つからない。
- ・行政との連携など。
- ・勉強会や訓練に参加者が少ない。「区民だより」「掲示板利用」で啓発しているが参加が少ない。個人の意識はあると思われるが、ひとつの固まりとしての行動が出来ない。
- ・自治会役員の任期が 1 年であり、知識・技量の伝承ができない。
- ・人集め、高齢化。
- ・実際、大災害が発生したらどのように対処できるか心配です。
- ・高齢者で女性の方が増えている。これからの社会の問題点です。
- ・若い方々が増えていかない事。
- ・防災訓練は年に 1 回は開催しているが、マンネリ化して住民の参加が少なくなり、何をすればいいのか悩んでいる。
- ・マンション、集合住宅としての訓練方法。
- ・コロナの中での避難所受入が実際にマニュアル通りに対応出来るのか。
- ・防災訓練の内容（各世代で興味を持ってもらえる様な訓練）方法にいつも悩む。
- ・町会活動において若い方々は仕事・家庭中心でどうしても高齢化している事等、防災に関しても同じ様でいろいろな方法を考えなければと思っています。
- ・人材不足。